

女性活躍推進・寄り添い支援事業【美濃加茂市】

地域の実情と課題

当市の20代から30代女性の就業率は徐々に上昇しているものの、女性の年齢階層労働力率のM字カーブの解消には至っていない。

その背景には、働きたいのに働けない、仕事が見つからない等の悩みを抱えている女性が多く、また、子育ての悩みや、社会とのつながりに対する不安、なにか分からないけどモヤモヤする等、悩みは複合して抱えていることが多い。

そのため、分野を横断して情報提供ができる場所の需要が高まっていると考えられ、そうした方々のための相談窓口が必要である。

事業の特徴

女性が自分らしく輝き、社会参画を促進することを目指しており、女性の就業支援の他にも、育児や家庭のこと、目指すライフスタイルに関すること等、幅広い女性の悩みを気軽に相談できる窓口の開設、セミナー、イベント等の実施を実施する。

事業の効果

- ①本事業を活用した女性の相談件数(累計)850件 (R3単年245件)
コロナの影響があったが、電話やメールなどでも相談対応を維持することができ、寄り添った支援を行うことができた。
- ②本事業を活用した女性の新規就業者数 17人
相談者のその後が追えないことが多くあるため、確認できた人数以上の就業者があると思われる。
- ③充実したライフスタイルを送る女性の割合 63.5%(前年度比-0.1ポイント)
主な利用者年齢層(30代~40代)に変わりがなく、結果はほぼ横ばいとなった。

目的・目標

<目的>

みのかも女性活躍支援センターと関係機関との連携を強化し、一人ひとりに寄り添う支援や相談が担える窓口となることで、住民の不安解消と一歩踏み出す後押しとなる支援を行い、女性が自分らしく輝き、社会参画を促進する。

<目標値>

- ①女性の相談件数 累計1,150件(R6) (R2現在605件)
- ②女性の新規就業者数 30人(R6)
- ③充実したライフスタイルを送る女性の割合 75%(R6) 現状値63.6%(R1)

連携団体

- 美濃加茂市総合戦略推進アドバイザー
産・官・学・金・労・言の各分野の団体により構成。
女性活躍推進計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に関する助言、提言を行う。
- みのかも定住自立圏連携町村
美濃加茂市及び加茂郡7か町村により構成。
男女共同参画に関する研修、啓発を実施。

今後の課題

女性活躍支援センターが徐々に市民に認知され、新たな利用者が増加したこともあり、深刻な相談も増えてきたため、より関係機関との連携、明確な役割分担が必要である。
また、若い世代から女性の社会参画やライフプランに関心を持つことで、様々なライフイベントでの悩みを乗り越えられるよう、若い世代に対するセミナーやイベントなどによる働きかけを行う必要がある。

事業の概要

みのかも女性活躍支援センタースタッフによる気軽におしゃべり相談の他、県、ハローワーク、各種専門家と連携したライフデザイン等のセミナーや講座を実施し、コロナ禍において支援を必要としている女性に寄り添った支援を行うことで、労働力不足と潜在的な労働力のミスマッチの緩和、M字カーブ曲線の改善、定住人口の増加を促し、活力ある地域の実現を目指す。

○様々な困難を抱える女性を支援するための相談の実施

みのかも女性活躍支援センタースタッフによる相談の他、岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センターと連携した相談会、ハローワーク美濃加茂による就労相談やファイナンシャルプランナーをはじめとする各種専門家による専門相談を実施し、悩みの解決をサポートし女性の社会進出、就労につなげる。

○就労に向けた講座、セミナーの実施

岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センターと連携した就労・子育てに関するセミナーや、再就職を支援する専門家によるセミナーを行い、就労に向けて取り組んでいる方へ就労に直結するサポートをする。

○心理面の支援をする講座、セミナーの実施

専門家による自分磨き講座、セミナーを地元企業や専門家と連携して行い、女性の就労意欲をアップさせる等、就職に必要な能力だけでなく、心理面のサポートをする。

○輝ける場の提供

女性のチャレンジ(学習成果やスキルの発表、ミニショップチャレンジ)を支援し、交流を促進するフェスを開催

○チラシやホームページを活用した情報提供

イベントやセミナー等の事業をチラシ等を作成し周知を図るとともに、自治体ホームページとは別に女性活躍推進に特化したホームページを運用し、効率的な情報提供を行う。

○コロナ禍でのWEB、電話による講座、相談

コロナ禍でも必要とする人に支援を届けるため、WEB、電話を用いた講座、相談を実施する。

